

総合工学委員会・機械工学委員会合同

工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会(第26期・第9回)

議事要旨

1. 日時 令和8年1月12日(月・祝) 9:30～11:30
2. 会場
オンライン Zoom
3. 出席委員(敬称略)
越塚 誠一、宮崎 恵子、遠藤 薫、大倉 典子、小野 恭子、神里 達博、上條 正義、柴山 悦哉、庄司 裕子、丹下 健、辻 佳子、西田 佳史、平尾 雅彦、藤井 健吉、水野 毅、宮崎 久美子、岸田 伸幸
4. 配布資料
資料1 第26期・第8回議事要旨案
資料2 「(仮題) 老朽・遺棄化学兵器廃棄事業の節目を見据えて 一新たな課題とリスク管理に関する今後の在り方」 (報告) (案)
資料3 「カーボンニュートラル施策推進のためのリスク検討フレーム」 (見解) (案)
5. 議題
 - (1) 前回議事要旨案の確認
辻委員長から、資料1に基づき、前回議事要旨案の説明があった。一部の字句を修正して承認された。
 - (2) 意思の表出案について
 - A) 岸田委員から、資料2に基づき、報告案「(仮題) 老朽・遺棄化学兵器廃棄事業の節目を見据えて 一新たな課題とリスク管理に関する今後の在り方」に関して説明が行われ、続けて議論が行われた。
 - B) 平尾委員から、資料3に基づき、見解案「カーボンニュートラル施策推進のためのリスク検討フレーム」について説明が行われ、続けて議論が行われた。
 - C) 以上の説明と議論および前回分科会の意思の表出に関する説明と議論を受け、以下の見解案および報告案を一部修正して提出すること及び今後の修正については委員長一任とすることを承認した。

- 見解案「カーボンニュートラル施策推進のためのリスク検討フレーム」
- 報告案「先進技術システムのリスクアセスメントの構造について」
- 報告案「老朽・遺棄化学兵器廃棄事業の節目を見据えて ―新たな課題とリスク管理に関する今後の在り方―」

(3) その他

- A) 宮崎副委員長より、法人化の現況に関する情報提供が行われた。
- B) 辻委員長より、次回の分科会は意思の表出案を提出した後に開催したいとの発言があった。